

# 北の子

浜岡北小学校だより 令和2年度1月号

〈学校教育目標〉

「たくましさ」と「思いやり」で未来をつくる子

〈重点目標〉

進んで関わり 認め合う子

## 第3ステージの成果と第4ステージに向けて努力すること

10月5日から始まった約3ヶ月間の第3ステージ「高め合い」のめざす姿は、「お互いのよさや頑張りを認め合ったり励まし合ったりしながら、めあてに向かって共に伸びようと頑張り続ける子」でした。この期間は、特にあいさつについて高め合うことができました。運営委員を中心に全員がお互いに認め合い励まし合うことで、進んであいさつをする人や明るい声であいさつをする人が日に日に増えていきました。また、はじめに相手の名前を言ってからあいさつをする人やお辞儀をしながらあいさつをする人もいました。思いやりのあるあいさつをされると、心が温かくなり人間関係もよりよくなります。これからも相手の気持ちを考えた素敵なあいさつを続けていくことを願っています。

第3ステージは、他にも嬉しいことがいろいろありました。学校外のことですが、市町対抗駅伝で御前崎市チームがお互いのよさや頑張りを認め合ったり励まし合ったりしながら、「20位切り」というめあてに向かって共に伸びようと頑張り続けた結果、過去最高の12位で敢闘賞を獲得したこともその一つです。

1月6日からは、本年度最後の第4ステージ「感謝・希望」が始まりました。めざす姿は、「1年間の成長を支えた人との関わりについて感謝の気持ちを伝えるとともに、希望を抱いてさらに成長しようと努力する子」です。駅伝チームの一員として走った内田あおいさんが、大会後に次のような感想を書いています。

4年生からの夢であった市町対抗駅伝に、今年出られてとても嬉しく思います。努力してきた結果がこのような形で実を結ぶことができ、今は走ることもとても楽しいです。今日は、今までの成果を思う存分発揮できたと思います。ですが、少し順位を落としてしまったことが悔しいです。その悔しさをばねにし、来年も出場できるようにたくさん練習したいです。12位という良い成績をおさめられ、応援して下さった市民の皆さんに恩返しができたと思いました。静岡県民の皆さん、医療従事者の皆さん、コーチの皆さん、本当にありがとうございました。

あおいさんの感想には、めざす姿の中の「成長」「感謝」「希望」が書かれています。本年度の重点目標「進んで関わり 認め合う子」を大切にした手立てによって全ての子どもたちが第4ステージのめざす姿に向かって努力し、さらに学校教育目標「『たくましさ』と『思いやり』で未来をつくる子」に近づくことができるよう職員一同努力してまいります。保護者・地域の皆様の御支援・御協力をよろしくお願いします。



## 時代とともに変わっていく授業（体育）

文部科学省作成の「学習指導要領」では、体育科の目標の中に「生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するため」という言葉があり、この目標を達成させるための体育の授業を行っています。長い距離を走ることに 대해서는、以前「校内マラソン大会」に向け苦しくてもより速く走る練習を行っていた学校が多くありましたが、以下のような学習指導要領に沿った授業に様変わりしてきました。

○低学年…「一定の速さでのかけ足」無理のない速さでのかけ足を2～3分程度続けること

○中学年…「 ” ” ” ” 3～4分 ” ”

○高学年…「時間やコースを決めて行う全身運動」無理のない速さで5～6分程度の持久走をすること

1月は、体育の授業だけでなく持久走優先週間（12日～21日）の「にこにこタイム」でも練習を行います。これらの活動を通して「走るのは楽しい（気持ちがいい）な。」

「同じペースで走ると疲れにくくていいな。」と感じ楽しみながら体力アップもできるようにしたいと考えています。



（校長 北原 弘明）

